



北京五輪バイアスロン競技
日本代表 尾崎光輔氏



令和5年度 尾花沢市青少年健全育成市民集会 未来に羽ばたけ子どもたちの力

青少年おばなごわ

第40号
編集発行
令和6年3月1日
尾花沢市
青少年育成
市民会議

令和5年11月12日(日)に、「未来に羽ばたけ 子どもたちの力」をスローガンに掲げ、青少年健全育成市民集会在開催されました。当日は約200名の参加をいただき、大変有意義な集会となりました。

集会では、青少年健全育成に「尽力された優良団体・功労者への表彰を行い、その後、家庭・学校・地域が協働し合い、地域の子どもは地域で守り、育てることの大切さを再認識し、地域に根ざした活動の輪を広げていくことを宣言しました。

講演では、北京五輪バイアスロン競技日本代表の尾崎光輔氏(鶴巻田出身)をお招きしました。何事も諦めず、前向きに挑戦したことで最高の舞台に立つことができたオリンピックピックでは、子どもたちに勇気を与える全力のパフォーマンスを魅せていただき、そして、これまでのスキー人生を振り返り、自分の可能性を信じて継続することの大切さや、応援してくれる人への感謝など、競技を通じて得たものについて、「継続は力なり〜自分のペースで〜」と題してご講話をいただきました。

今後もこの集いを契機に、市民皆さまのご理解とご協力を得ながら、青少年健全育成につながる活動に取り組んでまいります。

青少年健全育成優良団体

山形県立北村山高等学校生徒会



平成21年度より生徒会ボランティア活動を展開。学校周辺や花笠まつりの清掃活動を実施し、その社会奉仕活動から、共に支え合い、協力し合う青少年の健全な心の育成につながっている。地域の環境整備に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

名木沢生産森林組合(福原地区)



平成14年発足。森林経営や自然環境保全等の事業を実施。福原小学校等の児童への体験学習の指導を通して生徒間の相互交流を促し、児童の自主性・協調性を養い、自然への正しい理解や認識を醸成し、自然愛護の心を育てるなど青少年健全育成に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

野辺沢霧山太鼓クラブ(常盤地区)



平成28年より旧常盤中学校「霧山太鼓部」より継承。「霧山太鼓」の伝承活動は、30年以上の長きにわたって継承を続け今日までに至り、郷土を愛する心を育むと共に、青少年の健全育成と地域の活性化に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

青少年健全育成功労者

山口 昭一(尾花沢地区)



「新町スポーツ少年団」尾小ボーイズスポーツ少年団」監督として、永年にわたり子どもたちを指導。野球スポーツ少年団の監督として永年にわたり指導に携わり、たくましい子どもの健全育成に尽力し、スポーツ振興に多大な貢献をしており、その功績は誠に顕著である。

鈴木 正司(尾花沢地区)



青少年育成市民会議常任委員や指導センター指導委員、子ども子育て会議委員等を務め、子どもから大人まで社会教育の振興及び生涯学習の指導に貢献し、青少年健全育成に寄与していただいたその功績は誠に顕著である。

山寺 信秋(福原地区)



平成23年より交通安全指導員として交通安全立哨を行っており、交通事故防止に努めている。12年の長きにわたり、尾花沢市内の子どもたちの交通安全を見守り、交通安全指導を行っていることから、子どもたちへの安全確保や事故防止のみならず、健全育成にも貢献をしており、その功績は誠に顕著である。

尾花沢 サマーフェスタ 2023 活動報告 「プラネタリウム鑑賞」

8月9日(水)に尾花沢小学校の児童10名の参加で「プラネタリウム鑑賞」を行いました。サルナートからマイクロバスに乗って、北村山視聴覚教育センターに出発。参加者の皆さんはとても楽しみにしていた様子でした。

プラネタリウムでは季節の星座を投影いただき「夏の三大角形ベガ、デネブ、アルタイル」等とても分かりやすく説明いただきました。「今度は夜空を見上げて教えてもらった星座を探してみようね。」と笑顔いっぱいの日になりました。



常盤 響け！野辺沢霧山太鼓 活動報告 トッキーズ大衆 野辺沢霧山太鼓クラブ

毎週月曜日の夕暮れ、常盤小学校体育館から力強い音色が響いてきます。それは、野辺沢霧山太鼓クラブ小・中学生20名の、元気いっぱいの掛け声と太鼓の練習です。

演奏の場は、三日町七夕祭り、六沢火の見櫓解体の祭事、おばなざわ花笠まつり、鶴子なかよしお茶飲み会、延沢能登の守まつり、ファミリー発表会です。子どもたちは、発表できた喜びと「また、たたきたい」と意欲に溢れています。共演した保護者は、「親子で楽しくいい時を過ごせ、地域交流ができた」と言います。

常盤地域の郷土文化を、子どもたちに継承し、野辺沢霧山太鼓の更なる飛躍が期待されます。



北村山 高校 北村山高校のボランティア活動 活動報告 山形県立北村山高等学校

本校ではボランティア活動に力を入れて取り組んでいます。生徒会執行部が中心となり毎年行っている「生徒会ボランティア」では自分たちが地域のために何ができるかを考え、学校周辺のゴミ拾いや募金活動を行っています。

また、今年度は4年ぶりの開催となる尾花沢花笠まつりに参加しました。当日は沿道や観客席からたくさんのご声援をいただき、とても充実したものになりました。

今年度「青少年健全育成優良団体」として本校生徒会を表彰していただきました。今後もボランティア活動に積極的に参加し、地域の人と触れ合いながら成長していきたいと思えます。



玉野 市外見学研修 活動報告 ニッ森ゆう大学 学長 西塚政悦

11月23日(木)に開催し、親子連れ等総勢29名に参加いただきました。

一行は東根市の西部防災センターを訪れ、水害が発生した際等に活躍する設備や、備蓄物を見学したほか、段ボール製の避難所用簡易ベッドの組立てを体験しました。その後、複合文化施設であるまなびやテラスや、大きな広場と遊具が揃うあそびあランドを訪れました。

子どもたちは、公共施設の役目や施設で働く人たちの姿を学び、またひとつ成長できたようです。



宮沢 クリスマスカードで気持ちを贈ろう

活動報告 宮沢地区子供会育成連絡協議会

宮沢小学校の協力のもと、12月に子どもからお父さん、お母さんにクリスマスカードを贈りました。家庭では学校や友達のことなど様々な会話はしますが、文字で素直な気持ちを伝えることで、子どもの知らない側面を感じることができ、プレゼントになると思い発案。子どもたちは日頃の思いを一生懸命カードに書き、受け取ったお母さんは「普段子どもから手紙をもらうことがないのでとても嬉しい。スマホに保存して持ち歩いています。」と喜んでいました。



福原 ふくほら GAKUTO

活動報告 おたのしみ会

1月22日(月)にGAKUTO おたのしみ会を福原地区公民館で開催し、10名の児童が参加しました。

すごろく遊び、防災おかしボシェット作りとラッピング体験をしました。すごろくは、4匹のリスになり順番にさいころを振ってミッションをしながらどんぐりチケットを集め、楽しく遊びました。防災おかしボシェットは、「もしもの時、自分のために持ち出せるように」と説明を聞いて、みんな真剣に作りました。ラッピング体験は、すごろくで集めたどんぐりチケットと景品を交換し、思い思いのラッピングを体験しました。(協力：自然活動団体ぶらいべえとくらぶ)



福原 中学校 小中クリーン作戦

活動報告

今年度は、生徒会によるボランティア活動の一環として、小中クリーン作戦を数年ぶりに実施しました。小学生・中学生・地域の方々で行う清掃活動です。中学生が中心となってゴミを拾うルートを考え、地域のゴミ拾い活動を通して、清掃活動の大切さを実感するとともに、地域の方々とのつながりを感じられる活動となりました。今後も、地域とのつながりを大切に、自分たちにできることを「気づき」、「考え」、「実行」していきたいと思えます。



尾花沢 中学校 地域に出て活躍する尾中生

活動報告

尾花沢中学校では、毎年、市内の団体と連携してボランティア活動に取り組んでいます。今年度は、「おばなざわ花笠まつり」では踊り屋台「さくら号」の引き手やまつり後のゴミ拾い、「おばなざわ もっとまるだし 未来まつり」では運営補助などに参加しました。いずれも自分から進んで活動に参加する生徒ばかりで、やり終えた後は「地域の役に立つことができた」という充実感、満足感を味わうことができたようです。地域の中でも活躍できるチャンスをいただき、関係団体の皆様に感謝申し上げます。



健全育成五つの目標



尾花沢市 青少年育成市民会議 会長 池田 正義

市民の皆様には、日頃から青少年の健全育成に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

元日の能登半島地震発生から二カ月が経ちました。被災されました方々の厳しい生活、そして将来への不安と向き合い懸命にがんばられている姿を目にするたびに、胸が苦しくなります。被災された方々の一日も早いより良い生活を願うばかりです。

このような中、大関琴ノ若の誕生という尾花沢市民にとっては特にうれしい知らせがありました。昇進伝達式での力強い口上を聞き、心にエネルギーが湧いてくるのを感じました。誠におめでとございます。心よりお祝い申し上げますと共に、さらなる活躍を祈っています。

さて、今の子供たちを取り巻く環境は、少子高齢化、家族形態の多様化、情報化社会の飛躍的な発展など変化し続けています。特に、SNSなど新たな交流サイトを介した情報の拡散は、社会全体にも大きな影響を与えています。このような情報通信ネットワークの発展により、私たちの生活は便利になり豊かにもなりました。反面、子供たちが健全な成長に悪い影響を与える情報に触れることから、犯罪に巻き込まれるトラブルも起きています。

本来、子供たちは家庭や地域で温かく見守られながら、社会との関わりを通して、地域社会の一員としての自覚を持ち大人へと成長していくものだと思います。しかし、今、その地域社会とのつながりが弱くなっ

てきています。そして、そこから生まれる青少年に関わる多くの課題を見ると、家庭・学校・地域等の連携した取組みの重要性をこれまで以上に感じさせられます。

青少年健全育成について文部科学省のホームページを開くと、関連項目に健全育成の課題解決につながる目標が目にとまりました。

『健全育成の五つの目標』

- ・ 身体 の健康増進をはかる…日常生活で、自立して行動できるような体力（行動体力）と病気にかけりにくいような抵抗力（防衛体力）を高め、健やかな身体をつくること
・ 心 の健康増進をはかる…不安感、緊張感、欲求不満感などを持つことがない安定した精神状態を保ち、人格的な発達をはかること
・ 知的な適応能力を高める…子供の能力や個性に応じて可能な限りの知識と技術を獲得し、生活する上で必要な能力を高めること
・ 社会的適応能力を高める…発達段階に応じて、自分の所属する様々な集団生活の場において、他者との協調性や人間関係能力を高めること
・ 情操を豊かにする…美しいもの（美的情操）、善い行い（倫理的情操）、崇高なもの（宗教的情操）、つじつまの合うこと（科学的情操）などを見たり聞いたりした時に素直に感動する心を豊かにすること

この目標を知り、十一月の市民集会で優良団体・功労者表彰を受賞されました皆様を始め、市民の皆様が取り組んでいる子供たちのための活動は、この五つの目標、つまり子供たちを取り巻く課題解決のためには欠くことのできない重要なものであることと確信しました。

今後とも青少年の健全育成活動に向けた取組みが推進されますようお願いいたします。

令和5年度の「いじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動に係る「いじめ防止」標語の募集で村山管内の小中及び特別支援学校151校より21,821点もの応募がありました。そのうち、尾花沢市では827点の応募があり、19点の作品を推薦しました。

令和5年度 いじめ・非行をなくそう標語 (尾花沢市推薦作品)

「山形県村山地区優秀作品」

◎ わるぐちは いわないいきかない ひるげない

福原小学校1年 渡辺 愛叶

◎ よりそつとそつぎつねに じんのいん

植岡特別支援学校小3年 堀江 芽衣

◆ もう一歩 寄り添う心 認める心

尾花沢中学校2年 安達祐太郎

◆ 小学生の部

◎ かっこわるい 見てみぬフリをしてるきみ

福原小学校3年 井苅 駿

◎ 多様性認める心の必要性

福原小学校5年 渡辺 陽太

◎ いじめだめいえるあなたは きんめだる

尾花沢小学校1年 菅野 陽輝

◎ やめようよ ふみだせきみの そのゆうき

尾花沢小学校1年 辺見 来煌

◎ もらったよ えがおのバトン またつぎへ

尾花沢小学校2年 星川 華凜

◎ 言わないで 人がきずつくい やな事

宮沢小学校5年 三浦 奈結

◎ つなげたい やさしいきもち みんなでね

玉野小学校2年 菅野 乃麻

◎ ありがとう あふれるちいきに いじめなし

玉野小学校3年 高橋 真彩

◎ つれいことば やさしいことば まねしてひろげるころのわ

常盤小学校1年 伊藤 咲杜

◎ かんがえよう みんなにとどく やさしいことば

常盤小学校4年 落合 煌人

◆ 中学生の部

◎ ネットでの悪口一生消えないよ

福原中学校1年 菊池 珠奈

◎ 見ないふり 逃げるあなたも同じ罪

福原中学校2年 奥山 綾斗

◎ 「大丈夫？」その一言が心の救急車

福原中学校3年 菅野 優雅

◎ 気付いてよ 気付いてあげてよ 心のさけび

尾花沢中学校1年 松岡 美月

◎ 怖いけど 止めてあげる その勇氣

尾花沢中学校1年 石沢さくら

◎ もうやめる「見て見ぬふり」のぼつ観者

尾花沢中学校3年 富樫 侑乃

※学校順に掲載